

5 報 告

(2) 第 9 回 小 牧 市 子 育 て 支 援 機 関 連 携 会 議 に つ い て

産婦人科、小児科をはじめとする地域医療と地域保健や子育て支援の現場のスタッフが同じ目線で、育児不安の軽減を目指し、協働して小牧市の子育て支援体制を整備することを目的に開催しました。

開催日時 令和元年 9 月 9 日 午後 2 時～午後 3 時 30 分

開催場所 小牧市保健センター 3 階 運動指導室

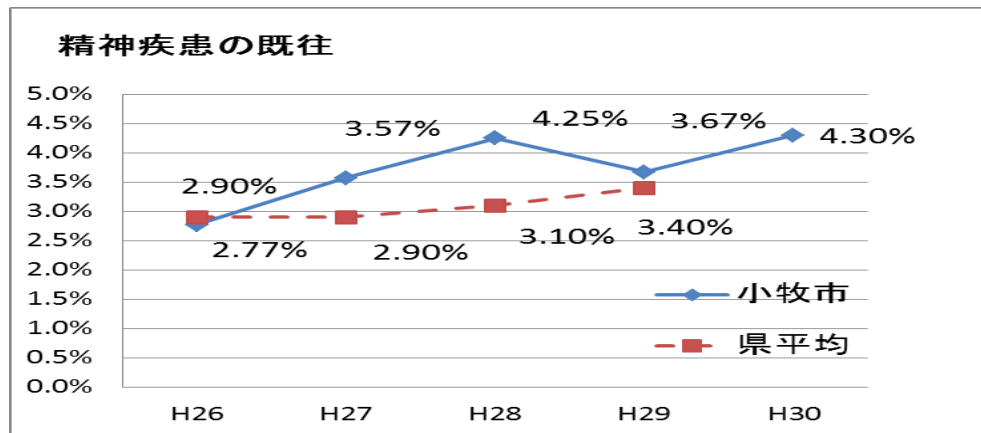
参加機関 春日井保健所、子育て世代包括支援センター他
産婦人科医療機関 3 機関 助産院 1 機関
小児科医療機関 1 機関、精神科 1 医療機関

会議内容

① 小牧市の母子における精神保健の現状について

親子健康手帳交付時アンケートから見える母親の状況
乳幼児健診問診票からの保護者の精神状況など報告

【妊娠届出時アンケート(県リスク判定)項目より】



【親子連絡票を活用して情報提供した件数】

| | 合計 | 依頼時期 (再掲) 精神フォロー | | 精神フォロー対象者(件数) |
|-----------------------------------|------|------------------|------------|------------------------------------|
| | | 出産前 | 出産前 | |
| | | 出産後 | 出産後 | |
| 保健センター、 子育て世代包括支援センター ⇒産婦人科 | 10件 | 10件 | 2件(20%) | メンタル(2件) |
| | | 0件 | — | — |
| 産婦人科 ⇒保健センター、 子育て世代包括支援センター | 146件 | 2件 | 1件(50%) | メンタル(1件) |
| | | 144件 | 77件(53.4%) | エジンバラ高得点者(66件)、母の精神疾患(6件)、メンタル(5件) |

② 意見交換「精神疾患を持つ母とその家族への支援」

【意見交換のまとめ】

- ・ うつ症状、精神疾患既往歴の妊産婦は増えている。
- ・ 精神科の数も少なく、マンパワー的にも厳しい。
- ・ 親子連絡票の活用によって、産婦人科と保健センターの情報共有ができるようになった。精神科とも今後情報共有ができるとより良い支援につながる。

⇒今後、精神科医療機関とつながりが持てるよう働きかけをしていく。

③ その他情報提供

- ・ 乳幼児のアレルギー対策、保健センター地区担当保健師等の紹介